

2021年校友会東京支部総会（2020年度総会）報告書

3月13日（土）に、2021年（2020年度）校友会東京支部総会を関西大学東京センターにて開催いたしました。新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が延長されたため、発出されている中での開催となりましたが、当初よりコロナウイルス感染防止対策としてZOOMでの参加も呼び掛けておりましたので、混乱なく開催することができました。

総会では、学歌斉唱に続き、高能副支部長（支部長代行）から「コロナ感染拡大防止の観点から活動が制限され、できないことがたくさんあるが、反面この時だからこそできることもある。いろいろ工夫をして校友とのネットワークの拡大・強化を止めずにやっていきたいので、引き続きのご支援・ご協力をお願いしたい」との挨拶がありました。

続いて来賓挨拶として、ビデオレターの形で田中義信新校友会会長と竹内洋東京センター長からご挨拶をいただきました。

田中会長からは、2022年に大学昇格100周年に合わせて「フェスティバル in 関西」の開催が計画されていることや、東京支部への要望として東京にとどまらず関東全域まで範囲を広げた活動、特に大学を卒業して関東圏に来る人は多いので、新入社員として来る方へのサポートなどお願いしたいとお話をいただきました。

また竹内センター長からは関西大学はほとんどの講義を対面で行う方針であること、今年の志願者についてはほぼ昨年並みであったこと、関西圏の志願したい大学は13年間トップを続けていることなど最近の関西大学の状況や、就職活動で不安を持っている学生が非常に多いので、もし出会った場合はご支援をお願いしたいとお話をいただきました。

続いて議事に移り、2020年度の活動報告、2021年度の活動計画、2020年度会計報告、2021年度予算、新役員体制（高能支部長以下役員16名）について報告及び説明があり、議案についてはすべて承認されました。

2021年はコロナの影響次第で活動内容が大きく変わる可能性もありますが、状況に応じて実施可能な形を考え、止まることなく活発に活動していく所存です。

今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

（昭52学社会 高能彰）

